

計画における項目				見直し内容	計画書 ページ	(参考) 当初計画書 ページ	担当部署	担当課	令和6年度実施状況 (1/15時点)	令和6年度 実施状況評価	達成度	今後(令和7年度以降)の実施計画	令和7年度実 施状況
フ コ ー ス ア プ	子どもの基本的な生活習慣の形成	乳幼児期	成長・発達に応じた離乳食・幼児食の支援	【継続】	P.111	(参考) 当初計画書 P.120	子どもあんしん部	ネウボラ課					
			保育園等における食育推進事業	【継続】	P.111	(参考) 当初計画書 P.120	子どもあんしん部	保育サポート課					
			わこう版ネウボラによる個別栄養支援	【継続】	P.111	(参考) 当初計画書 P.120	子どもあんしん部	ネウボラ課					
		学齢期	「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発	学齢期だけではなく、以降のライフステージへの啓発も同時に進め、家庭での正しい生活習慣の形成へと繋げる。	P.111		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	HPIにて周知予定。 また、イトーヨーカドー和光店にて毎月配布している食育レシピを朝ごはんレシピとして配布した。				
			食に課題のある世帯への支援事業	生活困窮世帯だけではなく、欠食や食生活の乱れがある過程を対象とした事業に変更	P.111	(参考) 当初計画書 P.121	福祉部	障害福祉課					
			学校等における食育の推進	【継続】	P.111	(参考) 当初計画書 P.121	教育委員会	学校教育課					
	健康寿命の延伸につながる食育の推進	青年期 壮年期	食育推進コンソーシアムを活用した健康無関心層への啓発	市内事業者と連携した栄養・食生活情報の提供等を行う。	P.111		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	イトーヨーカドー和光店で実施したイベント「彩の国フェア」にて減塩・減糖・減脂・野菜摂取に関する周知、啓発。				
			食育推進コンソーシアムによる減塩・減糖・減脂・ちよこっとプラス(果物・野菜)プログラムの推進	減塩を軸にした啓発および野菜や果物の積極的摂取を促す。わこう食育推進店での情報提供や、健康イベントにて啓発を推進。	P.111	(参考) 当初計画書 P.123	健康部	健康支援課 (健康増進センター)	市内スーパーマーケット6店舗、コンビニエンスストア21店舗にて、ちよこっとプラスポップを掲示。また、健康教室にて取り組みを紹介し、取り組みを周知した。				
	地域一体型の自然に健康になれる (横断的施策)	高齢期	生活実態等に基づく個別栄養マネジメント	【継続】	P.111	(参考) 当初計画書 P.122	健康部	長寿あんしん課					
			生涯にわたり自分の身体や歯・口腔の健康を保ち、食生活を楽しむための食育の推進	健全な食生活を送るために、バランスの良い食生活やゆっくりよく噛んで食べることの大切さ、フレイル・オーラルフレイルの予防について市民講座やリーフレット等で啓発する。	P.112		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	ヘルスサポーター養成講座にて、オーラルフレイルに関する内容を取り入れた。また、市政おとどけ講座「フレイル予防と食」では、オーラルフレイルに関する内容を入れ、市で行っている歯周疾患検診の周知も併せて行った。また、2/18のヘルスサポーター定例会では、咀嚼力を測定するガムを使用し、オーラルフレイルの予防についてよく噛む食育レシピを同時に配布し啓発を行う予定。				
		全ライフステージ	健全な食生活に関する知識の普及・啓発		P.112		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	市内スーパーマーケット3店舗にて、食事バランスについてのリーフレットをレシピ付きで配布している。				
			一般栄養相談による個別支援	【継続】	P.112	(参考) 当初計画書 P.121	健康部	健康支援課 (健康増進センター)	栄養相談を随時実施している。				
わ こ 産 わ こ 消 の 推 進 と 伝 統 的 食 文 化 の 継 承	地域における食育の推進・普及		食育推進コンソーシアムによる地域食育イベントの実施	第三次和光市食育推進計画に掲載 「健康な食事・適正な食塩摂取量」についてイベントを通して市民全体に周知する。	P.112	(参考) 当初計画書 P.123	健康部	健康支援課 (健康増進センター)	毎月19日の食育の日に合わせて、イトーヨーカドーでの食育レシピ配布による減塩・減糖・減脂・野菜たっぷりのメニューの紹介及び市HPへの掲載。市内コンビニ等の健康に配慮した商品のマーク表示、食べ方の組み合わせ例の表示の実施している。				
			健康に配慮した商品やメニューの設置や地産地消等を実施している店舗(わこう食育推進店)の登録拡大	外食や総菜購入時でも栄養バランスに配慮した食生活を実践できるような食環境づくりを推進する。	P.112		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	中間見直し時27店舗であった食育推進店は令和6年度は6店舗の登録があり、合計34店舗となっている。 (スーパーマーケット2店舗、コンビニエンスストア3店舗、小売店1店舗) また、コンソーシアム構成員は、事業者として食品会社が登録。コンソーシアム登録団体は推進店と併せて49か所となった。				
	食を通じた正しい知識の習得と未来につながる食育			【継続】	P.113	(参考) 当初計画書 P.123	健康部	健康支援課 (健康増進センター)	市政おとどけ講座「フレイル予防と食」にて、約50名を対象に、試食を提供しながらバランスの良い食事のとり方について講義を実施した。				
			地場産野菜や果物の紹介・レシピ配布	JA直売所やスーパーマーケット等の地場産野菜コーナーにて旬の野菜レシピの配布、HP等で地場産野菜や果物の情報提供を行う。	P.113		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	年4回、「野菜たっぷりレシピ」をJA直売所にて配布している。また市の食育ホームページでの周知や、市のイベント出店時に配布。わびあクリスマスイベントでは、食育ブースとして季節の野菜について学ぶ場を設け、522名が参加した。イベントでは、コンソーシアム構成員の大塚食品、ヘルスサポーターに協力を依頼した。				
			出前講座、収穫体験等体験型食育イベントの実施	【継続】	P.113	(参考) 当初計画書 P.129	健康部 市民環境部	健康支援課 (健康増進センター) 産業支援課	夏休み期間に、児童向けの食育講座「わこう食育おうえん隊講座」を開催。地域の方、食文化継承団体、だし専門店の方が講師となり、食文化や地場産野菜について学ぶ機会を設けた。全3回の講座で58名の児童が参加。自宅で朝ごはんの調理にチャレンジしたり、食への興味が増したとの声があった。講座では調理実習も併せて行い、調理補助としてヘルスサポーターに依頼をし、一緒に調理したものを喫食し、様々な世代との交流の場を提供。				
			「だれか」と一緒に食べる「共食」の推進	【継続】	P.113		健康部	健康支援課 (健康増進センター)					
			食品ロス削減の啓発	料理の食べきりの推進や、フードドライブ事業を行っている事業者について市民に周知する。	P.113		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	食育推進コンソーシアム会議にて、フードドライブ事業を行っている事業者と、それを求める構成員とのマッチングの時間を設けた。				
			災害時における家庭での備蓄の啓発	家庭において3日分以上の備蓄をする啓発を行う。ローリングストック法による各家庭に合わせた日常の食料品の備えをするよう危機管理室と連携した情報発信を行う。	P.113		健康部	健康支援課 (健康増進センター)	危機管理室と共同で、ボランティア連絡会・地区社協の2か所で、災害時の食について栄養や備蓄等の内容を含めた講義を行った。参加者はのべ約100名であった。				

R7年度に記載